

科目名	老年看護援助論 I				
担当講師名	佐藤 洋子	所属・役職	主任看護教員	資格・免許	看護師
授業形態	講義・演習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	2 学年前後期
講義の概要	<p>【高齢者の健康と生活を整える看護】</p> <p>老年期になると、人間は身体的にも精神的にも様々な加齢性変化が現れ、疾病の累積を伴い、人生の終末期を迎えて死に至る。そこで療養場所に関わらず健康生活を支え、その人らしい生を全うできるケアを実践するために高齢者の変化の特徴について理解する。また高齢者の健康管理と予防、多くみられる疾患のアセスメントと基本的な援助方法について学ぶ。</p> <p>また健康を障害された高齢者の生活機能の観点からアセスメントし、看護を展開する方法を学ぶ。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢変化と起こりやすい健康障害をふまえた高齢者の観察法が理解できる。 ・高齢者の機能や持てる力を活用し、安心・安全な日常生活援助の方法を習得できる。 ・老年看護の理論・概念を理解できる。 ・高齢者の特徴をふまえ看護過程が展開できる。 				
講義回数	講義内容				
1	<p>1. 高齢者の生活機能を整える看護</p> <p>1) 日常を支える基本的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃用症候群の予防 ・転倒予防 ・心身の活動性を高めるケア 				
2・3	<p>2) 食生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢に伴う摂食嚥下機能の変化に応じた支援 <p>演習：嚥下機能が低下した人の食事援助（嚥下体操・口腔ケア・義歯の管理）</p>				
4・5	<p>3) 排泄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢による排泄機能・行動への影響 <p>演習：陰部洗浄・オムツ交換、ポータブルトイレでの排泄</p>				
6～9	<p>4) 生活リズムとコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中の過ごし方を充実する 演習：アソビリテーション ・良質な睡眠を得るための工夫 ・難聴や視力障害のある高齢者とのコミュニケーション 				
10	<p>2. 健康逸脱からの回復を促す看護</p> <p>1) 脱水 2) 浮腫 3) 骨粗鬆症 4) せん妄</p>				

11～15	1. 看護過程の展開 1) 老年看護における理論・概念の活用 2) 高齢者の特徴を活かした看護過程の考え方 ①生活行動モデル ②目標思考型思考 3) 健康障害のある高齢者の看護展開 4) 臨床判断（シミュレーション演習：パーキンソン病）
教科書等	教科書：「老年看護学」 医学書院 「生活機能からみた老年看護過程」 医学書院 適宜、資料配布
成績評価方法	出席、授業参加状況、課題、試験等により総合的に評価する。
履修上の留意点	
特記事項	老年看護総論の知識をふまえ、テキストを熟読の上授業に臨む。